

循環器科

1. 診療科紹介

循環器診療についての幅広い知識を有し、基本的手技を修得し、かつ患者の立場を理解ができチーム医療を実践できる循環器内科医を育成することを目標としています。

教育体制 研修責任者 足立博雅（日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション学会指導医、日本心血管インターベンション治療学会認定医）
スタッフ 常勤医師3名

施設認定 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

2. 研修内容

(1) 一般目標

- ・患者、家族の人権への配慮ができる。
- ・専門にとらわれず広い視野、知識で診療を行う。
- ・関連する科と連携し、最良で的確な医療を提供する。
- ・医療に関連した職種との連携を保ち、チーム医療を実践する。
- ・常に新しい知識の習得のための学習の習慣を身に付ける。

(2) 循環器疾患の基礎知識の習得

- ・心不全、肺水腫、ショック
- ・虚血性心疾患
- ・弁膜症
- ・不整脈（心房細動・粗動、発作性上室性頻拍症、期外収縮、心室頻拍・細動、洞不全症候群、房室ブロック、アダムス・ストークス症候群など）
- ・大動脈疾患（大動脈瘤、大動脈解離など）
- ・心筋炎
- ・心筋症
- ・感染性新内膜炎
- ・肺血栓塞栓症、肺高血圧
- ・深部静脈血栓症
- ・高血圧
- ・閉塞性動脈硬化症

(3) 循環器救急の実践，習得

救急処置：救急蘇生法（BLS、ALS）、心膜穿刺術、一時ペーシング、IABP

急性心筋梗塞の診断、急性期管理ができる。

急性心不全、肺水腫の診断・治療ができる。

ショックの病態把握・治療ができる。

(4) 診断と治療の基本手技の習得

① 基本的診察スキル

循環器診療に必要な訴え（胸痛、動悸、息切れ、浮腫、めまいなど）に対する適切な病歴聴取と身体所見を把握できる。

② 検査法

標準12誘導心電図

運動負荷検査

ホルター心電図

心臓超音波検査（経胸壁エコー図、経食道エコー図）

電気生理学的検査

冠動脈CT

心臓カテーテル検査、スワン・ガンツカテーテル検査

血管内エコー（IVUS）

③ 治療法

・薬物療法：作用、副作用、相互作用を理解し、使用理由を説明でき、自ら処方、指示ができる。（強心薬、利尿薬、抗不整脈薬、血管拡張薬、降圧薬、昇圧薬、抗凝固薬、抗血小板薬、血栓溶解薬、脂質代謝改善薬、抗生物質、経口糖尿病薬など）

・食事療法、リハビリテーション、運動療法、禁煙の指導ができる。

・冠動脈および末梢血管インターベンション治療の基本

・植込み型ペースメーカー手術および設定管理

(5) 専門医資格の取得